

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	Vessel wall imaging を用いたコイル塞栓術後評価
研究責任者 (所属科名)	松重 俊憲 (広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 部長)
本研究の目的・意義	コイル塞栓術を施行した脳動脈瘤は、瘤内の血栓化や炎症細胞浸潤に始まり、母血管との間に内膜が新生して治癒すると考えられています。近年、MRI による血管壁イメージング(vessel wall imaging: VWI) が血管壁の炎症を反映し、脳動脈瘤においても病態把握に有用である可能性が示唆されています。しかしコイル塞栓術後の VWI の所見や有用性については報告が少ないです。今回我々はコイル塞栓術を施行した脳動脈瘤の VWI 所見について検討し、術後フォローアップに有用であるか検証しました。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2017年4月～2020年2月 研究期間：2021年3月末までを予定しています。
該当資料・データ	2017年4月～2020年2月までに当院にて脳動脈瘤を有する患者のうちコイル塞栓術を施行し、術前に VWI の評価を行った症例で、術後も VWI を施行した症例。患者背景、画像などのデータ収集し解析を行います。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	特にありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 部長 松重 俊憲 (PHS3031)
備考	